

# 2019 年度 事業報告書

# はじめに

本学は、1927年（昭和2年9月）に、我が国初のエックス線技師の養成機関として「島津レントゲン技術講習所」を設立しました。以来、一貫して変わらぬ建学の精神のもと、時代の要求に沿う高度な技術を修得した診療放射線技師を輩出するべく、診療エックス線技師制度の変遷に対応しながら、専修学校、専門学校、短期大学と技師教育一筋に歩みを進めて参りました。

このような歴史を継承し、社会の要請する、より高度な医療技術者を輩出するために、2007年（平成19年4月）に4年制大学である京都医療科学大学へ改組しました。

18歳人口の減少とともに私立大学を取り巻く厳しい環境の中、①放射線技術学科の深耕、内容の充実 ②医療専門職にふさわしい学士力の情勢と品性の確保 ③教育・研究環境の充実 ④法人・教学の健全な管理運営の維持 を基本方針として教育活動を展開しました。

については、2018年度事業報告書を作成しましたので、以下のとおりご報告します。

## 学園の概要

### 1) 建学の精神

品性を陶冶し有為の技術者を養成するを以て目的とす。



### 教育理念

医療科学に関する高度の知識及び科学技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成する。

### 教育目的

京都医療科学大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する高度の知識及び技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成することを目的とします。

### 2) 京都医療科学大学3つのポリシー

#### (ア) 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

京都医療科学大学では、建学の精神に沿って次のような人物を求めている。

- ① 医療科学における高度先端知識の修得に意欲を持つ人物
- ② 常に問題意識を持ち、課題解決に向けて思考し、理解しようという意欲を持つ人物
- ③ 多種多様な医療の職場環境において、常に明るく、協調性と積極性に富み、柔軟に対応できる素養のある人物

④ 診療放射線技師として、将来、社会貢献したいという意欲を持つ人物

求める能力

- ・ 基礎的な数学能力
- ・ 基礎的な国語能力
- ・ 基礎的な英語能力

(イ) 教育課程方針（カリキュラムポリシー）

京都医療科学大学では、ディプロマポリシーに要求される能力を修得するため、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目、総合科目に区分し、以下の方針でカリキュラムを編成する。

- ① 教養教育科目では、社会における医療人としての幅広い人間性を形成するため、高等学校で学んだ基礎知識をさらに深める。また、科学的思考の基盤となる数学や物理学、生物学等を初年次に学び、科学技術の進展等に対応し得る統合された知の基盤を獲得するための科学的思考を養い、専門基礎科目への導入をはかる。さらに、生活の基盤及び人間に対する理解を深めるための科目を配置し、グローバル社会でチーム医療の一員として活躍するためのコミュニケーション能力を養う科目等を配置する。
- ② 専門基礎科目は、専門的知識や技術を学修するための基礎となる科目群であり、思考力、判断力を養い、進歩の著しい放射線技術学の実践応用に対応できる基礎知識を修得するため、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち及び理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術を学ぶ科目等を配置する。
- ③ 専門科目では、実践を支える専門的知識・技術を確実に修得する科目として、診療画像技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医用画像情報学、放射線安全管理学、医療安全管理学等の科目群を配置する。さらに、学内の最新医療機器を用いた実験実習科目では、進歩の著しい放射線技術学分野の知識を確実にし、発展させ、学生自らが探求し、応用する能力を養う。
- ④ 総合科目では、これまでの学修の集大成として総合研究及び総合演習を実施する。総合研究では、学生の主体的な研究を通して、研究テーマの決定、問題解決能力、研究計画の立案能力、論文作成能力を体得する。総合演習では、専門基礎科目、専門科目で学修した内容について、知識・技術を総合的に整理して臨床現場で迅速に対応できる応用能力を身につける。また、学外での臨床実習を通して、臨床現場で役立つ診療放射線技師としての能力を養う。

### (ウ) 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

京都医療科学大学の建学の精神により、以下のような能力を身につけ、かつ本学の学則に定める卒業に必要なすべての授業科目の単位を修得した者について、卒業を認定し学位を授与する。

- ① 品性を陶冶し、チーム医療の一員としてコミュニケーション能力と幅広い一般教養を兼ね備えている。
- ② 医療技術に関する専門的知識 及び 基礎となる知識を十分に修得している。
- ③ 思考力、理解力を有し日々進歩する技術に自ら対応できる能力を備えている。
- ④ 医療技術で地域社会・グローバル社会に貢献するとともに、国民の保健医療の向上に寄与し、人類の健康への願いを実現する強い意欲を持っている。

### 3) 法人の沿革

昭和 2 年 9 月	(1927 年)	島津レントゲン技術講習所創立(各種学校) 修業期間 6 ヶ月 入学定員 20 名
昭和 6 年 10 月	(1931 年)	修業期間を 9 ヶ月に延長 入学定員を 25 名に増員
昭和 10 年 2 月	(1935 年)	校名を「レントゲン技術専修学校」と改称 修学期間を 1 年に延長 入学定員を 30 名に増員
昭和 21 年 4 月	(1946 年)	入学定員を 50 名に増員
昭和 27 年 4 月	(1952 年)	修学期間を 2 年に延長 総定員を 100 名に増員
昭和 44 年 4 月	(1969 年)	修学期間を 3 年に延長 総定員を 150 名に増員
昭和 45 年 4 月	(1970 年)	校名を「京都放射線技術専門学校」と改称
昭和 52 年 11 月	(1977 年)	学校法人「京都放射線学園」設立 各種学校を専修学校に変更
昭和 58 年 4 月	(1983 年)	校名を「京都医療技術専門学校」と改称 法人名称を「京都島津医療技術学園」と改称
昭和 62 年 2 月	(1987 年)	短期大学設立準備室を開設
昭和 63 年 12 月	(1988 年)	「京都医療技術短期大学」の設置認可 京都府知事所轄から文部大臣所轄に組織変更認可
平成元年 4 月	(1989 年)	「京都医療技術短期大学」開学
平成 3 年 8 月	(1991 年)	「京都医療技術専門学校」を廃止 法人名称を「島津学園」と改称
平成 17 年 4 月	(2005 年)	4 年制大学開設準備室を設置
平成 18 年 4 月	(2006 年)	「京都医療科学大学」設置認可申請
平成 18 年 11 月	(2006 年)	「京都医療科学大学」設置認可

平成 19 年 4 月	(2007 年)	「京都医療科学大学」開学
平成 23 年 10 月	(2011 年)	「京都医療技術短期大学」廃止

#### 4) 設置する学校・学部・学科等

2019 年 4 月 1 日現在

設置する学校	学部	学科	修学年限
京都医療科学大学 (平成 19 年 4 月開学)	医療科学部	放射線技術学科	4 年

#### 5) 定員等

2020 年 5 月 1 日現在 単位(名)

入学定員	収容定員	現員数
80	320	368

#### 6) 学生数の状況

2019 年 5 月 1 日現在 単位(名)

学年	男子	女子	計
1 年	51	42	93
2 年	56	43	99
3 年	57	29	86
4 年	59	29	88
合計	223	143	366

#### 7) 入試の状況

2020 年入試状況 単位(名)

志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
468	432	121	95

#### 8) 国家試験の状況

2020 年 3 月末合格状況 単位(名)

卒業生【学位授与】数	国家試験受験者数	国家試験合格者数
80	78	74

## 9) 卒業生の就職状況

2020年5月1日現在 単位(名)

大学院進学	国公大付属	私立大附属	国公立病院	公的施設	私立病院 企業附属	検診系/他
2	7	8	11	7	32	5

## 10) 教職員の概要

2019年5月1日現在 単位(名)

教員					専任職員
教授	准教授	講師	助教	兼任教員	
12	3	5	1	32	19

※特任教授含む

教員が有する学位

職位	学位	氏名	性別
学長/教授	博士(医学)	遠藤 啓吾	男
教授	博士(医学)	笠井 俊文	男
教授	博士(薬学)	齊藤 睦弘	男
教授	博士(医学)	柴田 登志也	男
教授	博士(工学)	佐藤 敏幸	男
教授	博士(工学)	森 正人	男
教授	博士(医学)	江本 豊	男
教授	博士(医学)	大野 和子	女
教授	博士(医学)	松尾 悟	男
教授	博士(保健学)	水田 正芳	男
教授	博士(工学)	澤田 晃	男
特任教授	博士(工学)	細羽 実	男
准教授	博士(工学)	田畑 慶人	男
准教授	博士(工学)	石垣 陸太	男
准教授	博士(保健学)	松本 圭一	男
講師	修士(英語教授法)	山本 美津子	女
講師	学士(文学)	遠山 景子	女
講師	修士(工学)	赤澤 博之	男
講師	修士(文学)	富高 智成	男
講師	博士(保健学)	霜村 康平	男
助教	博士(文学)	青野 美幸	女

## 11) 学費

2016 年度以前入学者

単位(円)

学費	1 年次		2 年次以降	
	入学時	後期	前期	後期
入学金	350,000	—	—	—
授業料	400,000	400,000	400,000	400,000
施設設備費	300,000	—	300,000	—
実験実習料	175,000	175,000	175,000	175,000
計	1,225,000	575,000	875,000	575,000

2017 年度以降入学者

単位(円)

学費	1 年次		2 年次以降	
	入学時	後期	前期	後期
入学金	250,000	—	—	—
授業料	450,000	450,000	450,000	450,000
施設設備費	175,000	175,000	175,000	175,000
実験実習料	145,000	175,000	175,000	175,000
計	1,020,000	800,000	800,000	800,000

## 12) 役員の概要

### ①役員

2019 年 4 月 1 日

理事：定数 8 名 現員数 8 名		監事：定数 2 名 現員数 2 名		
役職	氏名	役職	氏名	
理 事	理事長	中本 晃	監 事	高橋 一浩
	学長	遠藤 啓吾	監 事	藤井 浩之
	常務理事	鈴木 英文		
	外部理事	伏木 信次		
	外部理事	平岡 眞寛		
	外部理事	小西 淳二		
	外部理事	山田 惠		
	外部理事	上田 輝久		

## ②評議員

評議員：定数 17 名 現員数 17 名			
中本 晃*	鈴木 英文*	伏木 信次*	山田 恵*
上田 輝久	溝脇 尚志	富樫 かおり	錦 成郎
玉田 彰	西谷 源展	神澤 良明	埜藤 眞純
藤田 透	伊藤 邦昌	佐藤 敏幸	森 正人
大野 和子	*は理事と兼任		

# 事業の概要

## 1) 中長期目標

建学の精神、教育理念、教育目的のもと 3 つのポリシーを具現化するため中長期計画を策定する。

### 基本方針

- ① 医療科学技術の進歩に対応できる人材を育成する。
- ② 医療専門職にふさわしい学士力の醸成と品性の確保を目指す。
- ③ 教育研究環境を充実させる。

### 目標

基本方針に則り、2022 年度において達成する目標を次のように定める。

- ① 入学したくなる教育体制と修学支援体制が作られている。
- ② 学びやすく自修意欲がわく学内環境が整備されている。
- ③ 地域に評価される社会貢献活動を行っている。
- ④ 国際交流が活発に行われている。
- ⑤ FD、SD 活動が定常化している。
- ⑥ PDCA サイクルの展開が行われている。



## 2) 2019 年度の事業内容

### 1. 教育・研究に関する事項

#### 入試改革

文部科学省より示された「2021 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」により「実施要項」に大きく手が加えられることが予測される。

本学でもこれを踏まえ、推薦入試の強化を主軸に入試改革を行った。具体的な目的として、偏差値向上により能力やモチベーションの高い学生を獲得することがあげられたが、背景には入試制度の変換期により「現役合格」を目指す学生が増えることと同時に、併願受験を希望する学生の傾向も高くなるとの予想もあった。これまで本学の推薦入試は専願のみであったため、国公立大学への受験を志願するなど、幅広い受験者層の獲得の妨げとなっていたことから、本学でも、新たに推薦入試に併願枠を設けた。

その結果、推薦入試の受験者数は大幅に増加し（対前年度比 181%）、

- ・ 推薦入試の受験倍率（実質倍率）の上昇と併願受験者の高歩留り
- ・ 高成績の受験生（能力の高い学生）の獲得

につながった。

また、一般試験の受験者数（対前年度比 154%）・受験倍率（実質倍率）（対前年度比 172%）も増加し、推薦入試同様に高成績の受験生を獲得することにつながった。次年度以降もこの傾向を維持させ、本学の偏差値上昇へとつながることを期待しているが\*1、そのためには今後も受験生の動向を注意深く見守り、広く情報収集していく必要がある。

\*1 受験偏差値は一般試験の受験倍率を参考に決定される傾向あり

### 2. 教育研究環境の整備に関する事項

#### ① キャリア支援センターの設立（2019 年 4 月開設）

一人ひとりの学生が自らの力で働き方・生き方を選択し、働きがい・生きがいを見出すことができるよう、また自分に関わる人たちと共に考え、ともに成長できるよう、社会人基礎力の涵養を目的としてキャリア支援センターを設置した。社会に求められる人材の育成には、初年次からの系統的な学びが重要であるとの認識から、主体的に学ぶことのできる様々な学習プログラムを用意し、自己成長・自己実現をサポートするための「場」を提供し、支援した。

#### ② 教育医療機器の充実

株式会社 島津製作所のご協力により下記の教育用医療機器導入支援資金の購入資金に充当した。

MRI 装置を最新の超電導型装置 Vantage Elan/Zen edition  
キヤノンメディカルシステムズ(株) 製 1.5T

磁場均一性に優れた静磁場マグネット、高出力型傾斜磁場コイル、微弱なMR信号を高効率で検出するRF受信コイルなどを備えた最新型装置で、高画質化と高速撮影が可能となった。また、静音化機構のほか、非造影血管撮影、拡散強調画像、脳灌流・脳機能画像、全脊椎撮影、体動補正機能など多くのアプリケーションによる撮影等、高機能なMRI装置による学内実験・実習・総合研究を行うことで、原理や実践的な操作方法の習得、国家試験対策や臨床実習に役立つ知識の習得など基礎から高度な研究につながる基礎力の養成が可能となった。

### 3. 学生の支援環境の整備

株式会社 島津製作所のご協力により、22,000 千円を受領した。詳細については次の通り。

- ① 特待新入生奨学金 3,600 千円について  
目的：将来有望な学生の入学を増やすため、入試成績が優秀な学生へ支給する。  
2019年度は、新入生4名に対し、総額2,400千円を支給した。
- ② 特待生奨学金 10,800 千円について  
目的：在学生の学修意欲を高めるため、学業成績優秀者に支給する。  
2019年度は、2.3.4年各学年(9名)計27名に総額10,800千円を支給した。
- ③ 経済支援奨学金 3,800 千円について  
目的：経済的に困窮している学生を支援する。  
2019年度は、在学生14名に対し、総額3,100千円を支給した。
- ④ 海外交流奨学金 1,800 千円について  
目的：学生にグローバルな視点を育てるため、海外諸機関との交流を支援する。  
2019年度は、台湾・海外語学研修27名、ベトナム・海外研修16名に対し、総額3,893,538円を支給した。

台湾研修



ベトナム研修



- ⑤ 教育改革支援金 2,000 千円について  
目的：持続的な教育水準の向上をはかるため、教員の教育改革への取り組みを支援する。  
2019年度は、X線撮影ポジショニングドール、マークシート読み取り装置、入学前教育のeラーニング教材など総額4,888,640円を支援した。

#### 4. 学生募集活動に関する事項

本学受験生の多くがオープンキャンパスに参加している現状から、本年度はオープンキャンパスをさらに強化すべく様々な趣向を凝らし、学内にオープンキャンパスのプロジェクトチームを作り、内容の充実を図った。

代表的なものとして

- ・受験生が参加しやすいような開催日程と回数の増加
- ・学友会の協力による診療放射線技師の仕事の魅力と本学の魅力のアピール
- ・在学生の積極参加によるカフェタイム（個別面談）の充実
- ・新装置（MRI 装置）の紹介
- ・女子限定企画の充実

などがあげられる。具体的には、本学で診療放射線技師を目指す意欲のある学生の発掘を狙いとして開催回数を増やし、大学と接触する機会を増加した。また、在学生参加による個別面談では、入学後の大学生活を具現化し、学友会の協力により卒業生との協力体制を示し、職種としての診療放射線技師や本学の魅力を情報発信したことは、これらの企画により大学卒業後の仕事のイメージを具現化することにつながった。さらに、女子限定企画の充実により女子学生の入学比率が男子学生比1：1まで上昇した。

結果として参加者数は大幅増加の1,574名\*2（前年度比160%）であった。オープンキャンパスの参加者アンケートによれば満足度も非常に高く、受験者数の増加に大きく貢献した。特に推薦入試の受験者数増加は顕著であった。これらの結果から、本年度のオープンキャンパスを参加型へとより工夫を凝らしたことにより、本学入学後のイメージを描くことができ、受験までつなげることが出来たのではないかと考えられる。次年度以降のオープンキャンパスも“他学との差別化”を図るべくさらに深化させていきたい。

\*2 保護者数を含む

### 3) 学生生活

主な年間行事

4月3日	2019年度 京都医療科学大学 入学式を举行
4月5日	<p>初年次ワークショップ</p> 
4月11日～13日	<p>2019年度 研修旅行</p> 
4月20日	<p>学長杯スポーツ大会開催</p> 
4月23日	島津記念館見学
5月12日	<p>解剖学特論（愛知医大）</p> 
6月1日	就職懇談会
6月24日	キャリア教育（スーツ着こなし講座）
7月19日	国立陽明大学（台湾）来校
8月1日	<p>京都府放射線技師会 研修会 4年生参加</p> 

9月6日	島津製作所 三条工場見学
10月2日	近畿地区診療放射線技師教育施設学生体育大会に参加 
10月8日 10月16日 10月29日 11月13日	関西電力大飯原子力発電所見学 
11月23日	「地域ふれあいサイエンスフェスタ 2019」に参加
12月5日	キャリア教育（メイクアップ講座） 
12月19日	学生自治会クリスマス会開催
12月20日	キャリア教育（実習前マナー講座）
2月10日	島津製作所 「レントゲン祭・記念講演会」に参加
3月7日	第10回 京都医療科学大学 卒業式を挙げる

#### 4) 海外交流

区分	内容	詳細
海外研修	台湾：元培醫事科技大學	参加人数：26人（8月）
海外研修	ベトナム：チョーライ病院	参加人数：16人（8月）
講義	中国：山東医学高等専科学校	教員3名を派遣（6月、12月）
協定調印	ベトナム：フエ医科薬科大学	学術協定調印
見学	台湾：国立陽明大学来学	



フエ医科薬科大学 学術協定調印式

#### 5) 地域貢献

区分	内容	詳細
社会貢献	総合防災訓練 	南丹市（9月）
社会貢献	地域防犯パトロール 	南丹市（10月）
体験	「地域ふれあいサイエンスフェスタ 2019」にブース参加 	亀岡市ギャラリー（11月）

## 6) 学生募集活動

### 入試日程

区分	日程	会場
推薦入試	2019年11月9日	本学、大阪、東京、名古屋、福岡
社会人入試	2019年11月9日	本学
一般前期	2020年2月1日	本学、京都、大阪、名古屋、東京、広島、福岡
一般後期	2020年2月29日	本学、東京、大阪

### オープンキャンパス開催日

日程	参加者数（参加者総数）
2019年5月19日	43人
2019年6月9日	153人
2019年7月14日・15日	186人（14日）・135人（15日）
2019年8月10日・12日	177人（10日）・202人（12日）
2019年9月22日	222人
2019年10月19日	237人
2019年12月21日	107人



## 7) 学生の研究支援

学会名	日程及び場所	発表演題
京都府放射線技師会 第 577 回研修会	2019 年 8 月 1 日 京都アスニー	股関節立位正面撮影における股関節間 隙厚の測定
京都府放射線技師会 第 577 回研修会	2019 年 8 月 1 日 京都アスニー	JIS Z 4511 に沿った X 線質の再現
京都府放射線技師会 第 577 回研修会	2019 年 8 月 1 日 京都アスニー	散乱線除去用ソフトの性能検証
第 8 回 TOMO 会	2020 年 1 月 18 日 島津製作所関西支社	TOMO の被ばく管理方法
第 39 回日本核医学技 術学会総会学術大会	2019 年 11 月 1 日～3 日 3 日 松山市総合コミュニテ ィセンター	「脳血流 SPECT 撮像の標準化に関する ガイドライン 1.0」における減弱補正 法の開発

## 8) 外部資金の獲得状況

2019 年度 4 月現在

区分	研究課題名	区分	代表研究者
科研費	リスク臓器線量及び装置の物理干渉を考慮した全方位照射空間における照射軌道の最適化	基盤研究(C)	澤田 晃
科研費	CT 検査プロトコル単位での放射線線量を管理可能なシステム開発	基盤研究(C)	森 正人
科研費	参加型臨床実習実現に向けた放射線技師学生のための医療接遇教育システムに関する研究	基盤研究(C)	松尾 悟
科研費	transXens 検出器の原理を用いた骨構造および骨密度の抽出と腎結石の検出	若手研究(B)	霜村 康平
受託研究	放射線安全規制研究推進事業 円滑な規制運用のための水晶体の放射線防護に係るガイドラインの作成		大野 和子
受託研究	PET/CT 装置の画質評価のための解析ソフトの検証研究		松本 圭一



## 9) F D ・ S D 活動

研修日	研修名称	主催
2019年5月20日	高等教育の修学支援新体制制度説明会	文部科学省 高等教育局 高等教育段階の教育費負担軽減新制度プロジェクトチーム 学生・留学生課 高等教育修学支援準備室
2019年5月28日	学生募集セミナー	株式会社エデュース
2019年6月1日	国家資格キャリアコンサルタント更新講習	特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会 企画推進グループ
2019年6月7日	「震災対策技術展」大阪 -自然災害対策技術展-	「震災対策技術展」大阪実行委員会
2019年6月13日	私学共済事務担当者連絡会	日本私立学校振興・共済事業団
2019年6月14日	令和元年度南端船井自衛消防 泰連絡協議会 第1回普通救命講習会の実施 について	南丹船井自衛消防隊連絡協議会
2019年6月14日	Active Academy 研究会 令 和元年度総会/第9回全体研 修会	Active Academy 研究会
2019年6月21日	2019年 第1回 大学入 試・広報セミナー	株式会社 KEI アドバンス
2019年7月2日	初年次教育の実践報告	株式会社ラーニングバリュー
2019年7月5日	京都府大学安全・安心推進協 議会総会	京都府大学安全・安心推進協議会
2019年7月9日	2019年度後半戦を勝ち抜 き、次年度につなぐ学生募集	株式会社エデュース
2019年7月9日	グレースシティ 学校会計の 研修会「基礎編」	グレースシティ株式会社
2019年7月10日	攻める推薦・AO入試を考え る会	株式会社進研アド
2019年7月12日	教学部門のための業務改善第 9回 C-Learning セミナー	株式会社ディスコ

2019年7月18日	令和元年度企業内人権啓発推進員研修会・京都府企業内人権問題啓発セミナー	京都労働・公共職業安定所・京都府
2019年7月22日	京都府薬物乱用防止等に係る大学関係者セミナー（大学関係者連絡協議会）	京都府健康福祉部薬務課
2019年7月26日	大学・学校における学生・生徒募集と広報活動の効果的なすすめ方	一般社団法人 日本経営協会
2019年7月28日	2019年度 IR フォーラム	公益財団法人大学コンソーシアム京都株式会社 リアセック
2019年7月29日	個人情報保護に関する研修会	滋賀医科大学医学部附属病院
2019年8月5日	京都府立高等学校進路指導研究協議会 第1回研修会	京都府立高等学校進路指導研究協議会
2019年8月30日	SD 研修担当者交流会	公益財団法人大学コンソーシアム京都
2019年8月30日	学校広報・学生募集セミナー出席	一般社団法人 日本経営協会
2019年9月2日	令和元年度指導者研修会	南丹船井自衛消防隊連絡協議会
2019年9月6日	科学研究費助成事業（科研費）について	文部科学省研究振興局学術研究助成課
2019年9月6日	グレースシティ 学校会計の研修会「消費税編」	グレースシティ株式会社
2019年9月8日	救命講習会 心肺蘇生・AED講習会	園部消防署 警防課 救急係
2019年9月17日	改正私立学校法 説明	文部科学省高等教育局私学部私学行政課
2019年9月18日	令和2年度 責任者及び自己評価担当者説明会	公益財団法人 日本高等教育評価機構
2019年9月25日	私学事業団地域事務担当者向け説明会	日本私立学校振興・共済事業団 大阪ガーデンパレス 共済事業団
2019年9月25日	教育 IT ソリューション EXPO	リード・エグビジョン・ジャパン(株)

2019年10月2日	学生募集セミナー	株式会社エデュース
2019年10月15日	南丹警察テロ対策ネットワーク第3回総会	京都府南丹警察署警備課
2019年10月16日	企業対象人権研修会 京都人権啓発行政連絡協議会	京都人権啓発行政連絡協議会
2019年10月17日	高等教育の修学支援新制度説明会	文部科学省 高等教育局 学生・留学生課 高等教育修学支援準備室
2019年10月18日	令和元年度日本学生支援機構奨学金業務研修会	独立行政法人日本学生支援機構 貸与・給付部 企画課 総務企画係
2019年10月28日	2019年度SRK「私学労務セミナー」 「人事労務管理の法的留意点」	一般社団法人 私学労務研究会
2019年10月29日	2019年 第2回大学入試・広報セミナー	株式会社 KEI アドバンス
2019年11月1日	岸見一郎先生と語る会～アドラー哲学質問の夕べ～	岸見一郎先生と語る会～アドラー哲学質問の夕べ～事務局
2019年11月7日	就業規則の点検・整備と運用の留意点	私学経営研究会セミナー
2019年11月20日	Web 広報戦略コース	一般社団法人 日本経営協会
2019年11月20日	NOMA 公開講座 Web 広報戦略コース	一般社団法人 日本経営協会
2019年11月29日	令和元年度 キャリア教育・就職支援ワークショップ	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部学生支援企画課キャリア教育室
2019年11月29日	Active Academy 研修会 令和元年度 第10回全体研修会	Active Academy 研修会
2019年12月7日	第17回高大連携教育フォーラム「教育の接続」としての入試改革～高校までの資質・能力の育成を大学ではどう評価するか～	京都高大連携研究協議会

2019年12月11日	SD 共同研修プログラム 「IR 研修(超入門編)」	公益財団法人 大学コンソーシアム京 都
2019年12月12日	大学広報セミナー	大学通信 大学プレスセンター
2020年1月12日	経験代謝ピアトレーニング	JCDA 関西地区会
2020年2月16日	南丹市人権教育・啓発推進協 議会 人権教育・啓発活動交流会	南丹市人権教育・啓発推進協議会
2020年2月22日	ファシリテーション基礎講座	特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

## 10) 寄付の状況

2020年3月末現在

寄付区分		件数	金額	
現金寄付	一般寄付金	35件	6,126,000円	
	特別寄付金	グラウンド	185件	2,565,000円
		その他	4件	52,678,000円

## 11) 施設等の状況

### (1) 土地

種別	所在地	面積	備考
校地	京都府南丹市園部町小山東町今北1番3	19,582 m <sup>2</sup>	

### (2) 建物

種別	構造	面積	備考
本館	鉄筋コンクリート造5階建	3,179.32 m <sup>2</sup>	内未登記 (66.51 m <sup>2</sup> )
校舎 (1号館)	鉄筋コンクリート造3階建	7,262.33 m <sup>2</sup>	
校舎 (2号館)	鉄筋コンクリート・鉄骨造り5階建		
ボンベ庫	ストレート葺ブロック造平屋建	4.00 m <sup>2</sup>	
屋外学生休息施設	鉄骨造	23.10 m <sup>2</sup>	未登記
合計		10,468.75 m <sup>2</sup>	

### (3) 施設設備の整備状況

#### MRI室改修工事

MRIが老朽化しているため、MRI室の改修工事を実施し、MRIを超電導型装置（Vantage Elan/Zen edition（キヤノンメディカルシステムズ株）製1.5T）に更新した。より高機能なMRIにより学内実験・実習・総合研究を行うことで、原理や実践的な操作方法が習得でき、国家試験対策に役立つと同時に、臨床実習や臨床現場で役立つ知識が得られる。

#### 講師室改修工事

講師室を新任教員用の教員室、ゼミ室に改修する工事を実施した。

#### 空調機更新工事

経年変化により老朽化している空調機を更新した。

#### セキュリティサーバー・ネットワーク

全学ネットワークサーバシステムが老朽化しているため、更新工事を実施した。

# 財務比率の推移

5カ年連続財務比率表を下記に掲載する。

## (1) 貸借対照表関係比率

単位%

比率名	算出方法	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	全国平均*1	自己評価*2
固定資産構成比率	固定資産	51.09	69.57	80.86	79.23	76.59	83.6	～
	総資産							
有形固定資産構成比率	有形固定資産	49.23	67.81	78.97	76.92	73.80	51.5	～
	総資産							
特定資産構成比率	特定資産	1.84	1.74	1.88	1.89	2.02	28.9	△
	総資産							
流動資産構成比率	流動資産	48.91	30.43	19.14	20.77	23.41	16.4	○
	総資産							
固定負債構成比率	固定負債	1.84	1.74	1.88	2.14	2.16	3.7	○
	総負債+純資産							
流動負債構成比率	流動負債	7.57	8.11	6.54	6.00	8.79	3.3	～
	総負債+純資産							
内部留保資産比率	運用資産-総負債	40.50	21.73	11.94	14.32	14.12	39.1	～
	総資産							
運用資産余裕比率	運用資産-外部負債	268.17	155.99	89.55	106.26	107.31	3.4	○
	経常支出							
純資産構成比率	純資産	90.59	90.14	91.58	91.86	89.05	93.1	～
	総負債+純資産							
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額	6.86	-11.12	-21.14	-22.90	-22.00	-11.2	～
	総負債+純資産							
固定比率	固定資産	56.39	77.18	88.30	86.25	86.01	89.9	～
	純資産							
固定長期適合率	固定資産	55.27	75.71	86.52	84.28	83.97	86.4	～
	純資産+固定負債							
流動比率	流動資産	646.17	375.08	292.55	346.43	266.23	503	～
	流動負債							
総負債比率	総負債	9.41	9.86	8.42	8.14	10.95	6.9	～
	総資産							
負債比率	総負債	10.39	10.93	9.19	8.86	12.30	7.5	～
	純資産							
前受金保有率	現金預金	754.31	657.05	354.96	394.32	395.42	891.1	～
	前受金							
退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産	100	100	100	100	100	63.1	○
	退職給与引当金							
基本金比率	基本金	99.98	97.56	100	100	100	99.6	～
	基本金要組入額							
減価償却比率	減価償却累計額(図書除く)	48.03	47.97	34.09	37.37	39.19	51.4	～
	減価償却資産取得価格							
積立率	運用資産	156.61	94.67	58.97	58.62	63.54	83.6	～
	要積立額							

## (2) 事業活動収支計算書関係比率

単位%

比率名	算出方法	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	全国平均*1	自己評価*2
人件費比率	人件費	51.33	54.02	52.37	51.87	53.24	54.2	～
	経常収入							
人件費依存率	人件費	59.91	62.58	65.75	61.70	64.92	106.9	○
	学生生徒等納付金							
教育研究経費比率	教育研究経費	30.32	32.26	39.45	39.11	39.46	38.2	～
	経常収入							
管理経費比率	管理経費	10.08	11.77	13.58	14.31	14.11	12.9	～
	経常収入							
借入金等利息比率	借入金等利息	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.1	～
	経常収入							
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	5.85	10.16	4.76	2.68	-5.36	3.1	～
	事業活動収入							
基本金組入後収支比率	事業活動支出	100.80	10781.87	187.35	109.85	105.36	108.1	～
	事業活動収入-基本金組入額							
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	85.69	86.32	79.65	84.07	82.01	50.7	○
	経常収入							
寄附金比率	寄附金	1.15	6.86	9.16	7.77	8.42	19.2	△
	事業活動収入							
経常寄附金比率	教育活動収支の寄附金	0.16	0.03	3.59	4.02	4.13	18.9	△
	経常収入							
補助金比率	補助金	7.70	8.89	13.88	12.27	9.99	13.2	～
	事業活動収入							
経常補助金比率	教育活動収支の補助金	7.78	8.60	10.69	9.48	10.47	12.3	△
	経常収入							
基本金組入率	基本金組入額	6.60	99.17	49.17	11.41	0.00	10.3	△
	事業活動収入							
減価償却額比率	減価償却額	13.72	13.40	17.78	19.96	19.35	13.9	～
	経常支出							
経常収支差額比率	経常収支差額	8.26	1.95	-5.40	-5.29	-6.81	-5.5	～
	経常収入							
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額	7.95	1.79	-5.40	-5.29	-6.82	-12.7	～
	教育活動収入計							

\*1 全国平均：日本私立学校振興・共済事業団発行「今日の私学財政 2019年度版」に記載するところの小規模（～0.5千人）法人の値を引用

\*2 「自己評価」欄の説明：

○ 全国平均と比べて優れている    △ 全国平均と比べて劣っている    ～どちらともいえない

# 教員研究業績

## (1) 原著論文

1. 竹下翔,石垣陸太,富高智成,鈴木秀宣,河田 佳樹,仁木 登 ,一般撮影の患者別画像参照支援システム,電子情報通信学会論文誌 D,2019,J103-D NO. 1,34-41,査読有
2. Onoue K, Nishio M, Yakami M, Aoyama G, Nakagomi K, Iizuka Y, Kubo T, **Emoto Y**, Akasaka T, Satoh K, Yamamoto H, Isoda H, Togashi K : CT temporal subtraction improves early detection of bone metastases compared to SPECT,European Radiology,2019,29(10),5673-5681,査読有
3. Akasaka T, Yakami M, Nishio M, Onoue K, Aoyama G , Nakagomi K, Iizuka Y, Kubo T, **Emoto Y**, Satoh K , Yamamoto H , Togashi Kaori : Detection of suspected brain infarctions on CT can be significantly improved with temporal subtraction images,European Radiology,2019,29(2),759-769,査読有
4. Onoue K, Nishio M, Yakami M, Sakamoto R, Aoyama G, Nakagomi K, Iizuka Y, Kubo T, **Emoto Y**, Akasaka T, Satoh K, Yamamoto H, Isoda H, Togashi K : Temporal subtraction of computed tomography images improves detectability of bone metastases by radiology residents,European Radiology,2019,29(12),6439-6442,査読有
5. **大野和子** : 医療における放射線不安の実態,エネルギーレビュー,2019,5月号,16-17,2019.4.22
6. **大野和子**,馬淵龍,小泉幸司,北村圭司 : 規開発着脱・可搬型 PET 装置の安全利用に関する検討,日本放射線安全管理学会誌,2019,18巻 1号,2-5,2019.6.27
7. Sueoka M, **Sawada A**, Tanabe H, Okada Y, Taniuchi S, Okuuchi N, Tanooka M, Kokubo M, Yamakado K : Verification of Dosimetric and Positional Accuracy of Dynamic Tumor Tracking Intensity Modulated Radiation Therapy,International Journal of Medical Physics, Clinical Engineering and Radiation Oncology,2019,8,211-224,査読有
8. Kohno S, Isoda H, Ono A, Furuta A, Taura K, **Shibata T**, Togashi K.,Portal vein embolization: radiological findings predicting future liver remnant hypertrophy. ,AJR Am J Roentgenol. ,2019,44127,1-7doi: 10.2214/AJR.19.21440,査読有
9. **富高智成**, 白川雅之, 因來愛実, 高橋雅延, 清水寛之 : 健忘症患者の日常記憶に関する自己評価 —1 事例におけるメタ記憶質問紙への反応と神経心理学的検査結果の 1 年間の変化— ,行動科学,2019, 58(1),39 - 50,査読有
10. Akamatsu G, Ikari Y, Ohnishi A, **Matsumoto K**, Nishida H, Yamamoto Y, Senda M,Voxel-based statistical analysis and quantification of amyloid PET in the Japanese Alzheimer's disease neuroimaging initiative (J-ADNI) multi-center study.,EJNMMI Research,2019,9(1),91,査読有



11. Hiroyasu ikeno, Sakai K, Imai H, Mizuta M : Effects of different fat-suppression methods on T1 values in dynamic contrast-enhanced magnetic resonance imaging: a phantom study, Radiol Phys Technol. ,2019,12(3),335-342,査読有
12. 渡邊祐司,永山雅子：脈硬化（頸部）：頸動脈プラークのMRI診断,画像診断,2019,39(10),1133-1142,無

## (2) 著書・報告集など

13. 赤澤博之,遠藤啓吾,佐藤芳文,澤田晃,齊藤睦弘,林茂樹,佐藤敏幸,笠井俊文,向井孝夫（他 15名）：診療画像機器学（X線）,診療放射線技師 国家試験対策全科（第13版）,金芳堂,2019,,169～192
14. 赤澤博之,笠井俊文：診療画像機器学,診療放射線技師国家試験 完全対策問題集 2020年版,オーム社,2019,,18～68 404～441
15. 石垣陸太,藤田広志、寺本篤司、岡部哲夫（編）：第2章医療情報の電子化と標準化,新医用放射線科学講座 医用画像情報工学,医歯薬出版株式会社,2019,,185-190
16. 石垣陸太,西谷源展、遠藤啓吾（編）：8章診療画像検査学、10章医療情報学,診療放射線技師国家試験対策全科（第12版）KINPODO,KINPODO,2019,,279-282, 314-320
17. 石垣陸太,遠藤啓吾（編）、他：6生体情報のネットワークシステム（PACS）,図解診療放射線技術実践ガイド第4版,株式会社文光堂,2019,,477-483
18. 遠藤啓吾：JAPI 放射線照射利用促進協議会 2019.1.15 Vol.21No4 放射性核種（RI）による内部照射とがん治療：現状とこれからの開発研究,放射線照射利用促進協議会 Vol.21No.4,2-7
19. 笠井俊文,北山彰：X線撮影技術学,2020年版 合格！ Myテキスト,オーム社,2019,第12章,659-733
20. 笠井俊文,赤澤博之：診療画像機器学,2020年版 完全対策問題集,オーム社,2019,第I部第2章,18-68
21. 齊藤睦弘：第4章 放射化学,診療放射線技師国家試験対策全科 第13版,金芳堂,2019,,118-134
22. 澤田晃,遠藤啓吾ほか多数：放射線物理学,国家試験対策全科,金芳堂,2019,13版,89-115
23. 澤田晃,遠藤啓吾ほか多数：画像誘導放射線治療,図解診療放射線技術実践ガイド,文光堂,2020,4版,766-771
24. 松本賢治, 雑賀貴大, 霜村康平, 花岡宏平, 田村命, 門前一, 早川典, 奥村雅彦：吸収素材を用いた頭頸部用枕固定支持台の開発,日本放射線技術学会雑誌,,2019,75(2), 167-173

25. 松尾悟,遠藤啓吾 : 放射線管理, 図解 診療放射線技師実践ガイド 第4版, 文光堂, 2020, 888-891, 934-937
26. 松本圭一, 遠藤啓吾 : 核医学検査技術学, 診療放射線技師国家試験対策全科第13版, 金芳堂, 2019, 361-398
27. 松本圭一, 辻寿二 : PET/CT装置の画質評価のための解析ソフトの検証研究, 共同研究報告書, 自費出版, 2019, 1-90
28. 鬼塚昌彦, 椎山謙一, 阿部慎司, 長谷川智之, 澤田晃 : X線, 放射線物理学 (診療放射線基礎テキストシリーズ), 共立出版, 2019, 初版, 50-60
29. 水田正芳,遠藤啓吾 : CR 画像処理技術 FPD 画像処理技術, 図解 診療放射線技術実践ガイド, 文光堂, 2020, 79-83, 89-94
30. 渡邊祐司 : oronary MRA, Black-blood MR imaging, 第3版 MRI データブック最新用語辞典, メディカルビュー, 2019, 26-27, 54
31. 渡邊祐司 : 精巣・精嚢, “知っておきたい泌尿器のCT・MRI 改訂第2版”, 秀潤社, 2019, 360-423

### (3) 国際会議発表

32. Takeshita S, Ishigaki R, Tomitaka T, Suzuki H, Kawata Y, Niki N : Patient-Specific Image Reference Supporting System in General Radiography ,IEVC2019 The 6th IEEEJ International Conference on Image Electronics and Visual Computing, 2019.8, Kuta Bali, Indonesia, 査読有
33. Shimizu K, Aoyama G, Nishio M, Yakami M, Kubo T, Emoto Y, Ito T, Kuroda T, Isoda H : A case study regarding clinical performance evaluation method of medical device software for approval ,Medical Imaging 2019: Image Perception, Observer Performance, and Technology Assessment, 43517, San Diego, 査読有
34. Emoto Y : Image Interpretation and Artificial Intelligence, TURKRAD 2019, 43776, Antalya Turkey, 招待
35. Sueoka M, Sawada A, Tanabe H, Okada Y, Taniuchi S, Tanooka M, Miyazaki M, Okada W, Nakahara R, Suzuk H, Okuuchi N, Kokubo M, Yamakado K, Verification of dosimetric and positional accuracy for dynamic tumor tracking intensity modulated radiation therapy, The 15th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2019. 10, Perth, 査読有
36. Shimomura K, Monzen H, Kosaka H : The novel method for generating bone removal image by single shot x-ray imaging with stacked four-layer imaging plates, 2019 ソウル放射線技師会学術大会, 2019.3, ソウル, 査読無

37. Mizuta M, Nakamura Y : Usefulness of the Principle of Selective Excitation Technique Non-electrocardiogram gated-TOF Method in Lower-extremity MRA Using a Whole-body Coil,THE 21th Annual Congress of Vietnamese Society of Radiology and Nuclear Medicine,2019.8, Da Nang ,査読有
38. 山本美津子 : Perspectives to Educate Global Citizens at a Japanese College for Radiological Technologists,LMU Conference Global Citizen,2019. 3,Munich, Germany,査読有

#### (4) 国内会議発表

39. Yakami M, Kubo T, Emoto Y, Onoue K, Akasaka T, Sakamoto R, Isoda H, Togashi K : Effect of Patient-related and CT-examination-related Factors on Detectability of Bone Metastases Using CT with and without Temporal Subtraction,第 78 回日本医学放射線学会学術発表会,43566,パシフィコ横浜,査読有
40. 大野和子 : 放射線診療従事者の水晶体被曝管理に関する研究,第 321 回日本医学放射線学会関西地方会,2019.2.9,ホテルエルセラーン大阪,有
41. 大野和子 : 医療放射線防護を取り巻く潮流,第 322 回 日本医学放射線学会関西地方会,2019.6.8,ホテルエルセラーン大阪,学会指定教育講演
42. 澤田晃,樋口大規 : 動体追尾照射併用の IMRT における患者個別精度検証,第 33 回高精度放射線外部照射部会学術大会,2020.3,電気ビル共創館,査読有
43. 末岡正輝, 澤田晃, 田邊裕朗, 岡田裕朗, 奥内昇, 小久保 雅樹 : 動体追尾 IMRT の線量と照射位置精度の検証,4 病院研究フォーラム,2020. 2,神戸,査読有
44. 富高智成, 相本夏海, 富田典志, 長友彬, 松本唯 : 医療用ユニフォームの色と場所が活動性に関する印象に与える影響 ,日本認知心理学会第 17 回大会,2019.5,京都テルサ,査読有,
45. 松本圭一, 小村拓夢, 金城由門, 竹内健太郎, 柄本和輝, 遠藤啓吾 : 「脳血流 SPECT 撮像の標準化に関するガイドライン 1.0」における減弱補正法の開発,第 39 回日本核医学技術学会総会学術大会,2019.11,松山,査読有
46. 大崎洋充, 松本圭一, 市川吉紀, 辻寿二, 浜田一男, 立石宇貴秀 : 全身 FDG-PET 撮像のファントム試験における画素補間法の影響,第 39 回日本核医学技術学会総会学術大会,2019.11,松山,査読有
47. 水田正芳,中村泰典 : <sup>123</sup>I-ioflupane の標準化における線条体ファントム測定の再現性に関する検討,第 39 回日本核医学技術学会総会学術大会,2019.11, 松山市総合コミュニティセンター. 査読有

48. 水田正芳,中村泰典 : Usefulness of the non-Gate lower-extremity MRA for arterial disease patients with arrhythmia,近畿地域診療放射線技師会学術大会,2020.2,京都テルサ,査読有
49. 山本美津子,富高智成 : Short-Term Study Abroad Impact on Students' Reluctance to Speak L2,JACET 関西 ESP,2019. 12,大阪,査読有
50. 山本美津子, 富高智成 : 短期留学前後の英語でのスピーキングに対する抵抗感の変化についてー医療系学生の場合ー ,JACET 関西 ESP 第3回研究会,2019.12,関西医科大学,査読無

## (5) 講演

51. 赤澤博之 : 電離箱式サーベイメータ比較校正実習,兵庫県放射線技師会,京都医療科学大学,2019.8
52. 赤澤博之 : 線量計校正およびサーベイ実習の研修会,京都府放射線技師会,京都医療科学大学,2019.9
53. 赤澤博之 : 線量計の校正 ～診断領域線量計標準センターと線量計の校正～,第63回 日本放射線技術学会 近畿支部学術大会,ホテルクラウンパレス神戸,2019.12
54. 石垣陸太 : 核医学のスマートな被ばく管理と画質管理,第308回日本核医学技術学会近畿地方会,島津製作所関西支社阪急ビル14階,2019.5
55. 石垣陸太 : 線量管理について,第107回関西画像研究会,日本研修センター江坂,2019.2
56. 霜村康平 : アクセプトランスとコミッションングについて,日本放射線治療専門技師認定機構全国統一講習会第5回スキルアップコース (関西地区) ,大阪国際がんセンター,2019.2
57. 江本豊 : デジタル画像診断の基礎,第55回日本医学放射線学会秋季臨床大会 教育講演,ウイंक名古屋,43756
58. 大野和子 : X線検査と被ばく管理-医療法施行規則の改正対応-,全衛連・研修会,三田 NN ホール,2019.2.15
59. 大野和子 : 放射線、放射性物質の基礎知識と食品への影響について,京都府農林水産部 リスクコミュニケーション「食品中の放射性物質について」,京都府農林水産部 (舞鶴) ,2019.3.1
60. 大野和子 : 適切な被ばく管理ー女性の患者と従事者についてー,三重県診療放射線技師会 学術講演会,三重大学医学部 臨床研究棟 2F,2019.5.18
61. 大野和子 : 放射線被ばくについて-放射線って怖くないよ -,京都府立医科大学放射線部・看護部講演会,京都府立医科大学病院 永守記念最先端がん治療研究センター ,2019.5.31
62. 大野和子 : これからの医療放射線防護,第29回 京滋核医学セミナー,ホテルセントノーム京都,2019.6.8

63. **大野和子**：医療分野におけるガイドライン概要,日本保健物理学会シンポジウム：水晶体防護に係るガイドラインの作成,TKP スター貸会議室 日本橋 カンファレンスルーム 3B,2019.7.20
64. **大野和子**：放射性同位元素等取扱者のための再教育訓練,「放射性同位元素等取扱者のための再教育訓練」特別講演会,京都大学医学部附属病院臨床第一講堂,2019.8.1
65. **大野和子**：放射性同位元素等取扱者のための再教育訓練,「放射性同位元素等取扱者のための再教育訓練」特別講演会,京都大学医学部附属病院臨床第一講堂,2019.8.9
66. **大野和子**：放射線及び原子力防災に関する基礎的な知識等について,令和元年度 京都市原子力防災訓練,京都市立京北第三小学校,2019.9.22
67. **大野和子**：日本医学放射線学会医療放射線の安全管理の指針に基づくガイドライン作成 WG, 第 67 回医療放射線安全管理講習会,首都大学東京,2019.10.13
68. **大野和子**：正当化とリスク、放射線障害への対応,第 1 回 医療放射線安全管理責任者講習会,世界貿易センタービル 3 階 コンファレンスセンター「RoomA」,2019.10.13
69. **大野和子**：正当化とリスク、放射線障害への対応,第 2 回 医療放射線安全管理責任者講習会,世界貿易センタービル 3 階 コンファレンスセンター「RoomA」,2019.10.14
70. **大野和子**：日本医学放射線学会医療放射線の安全管理の指針に基づくガイドライン作成 WG, 第 68 回医療放射線安全管理講習会,京都教育文化センターホール,2019.10.27
71. **大野和子**：令和 2 年度医療法改正の詳細,2019 年度秋季放射線障害予防講習会,兵庫医科大学 301 講堂,2019.11.22
72. **霜村康平**：『図解：線量計算アルゴリズムの原理と種類 ～CT 値の必要性と精度管理～』,第 140 回放射線治療かたろう会,ホテルフクラシア大阪ベイ,2019.6
73. **霜村康平**：各施設実施方法の Q&A,日本診療放射線技師会主催生涯教育セミナー,ウィングプラザ JR 栗東駅前,2019.6
74. **霜村康平**：治療計画用 CT 装置の QA/QC プロファイラを用いた QA/QC,日本放射線治療専門放射線技師認定機構主催 2019 年度実習型講習会（リニアック）,放射線治療研修センター（キヤノン）,2019.6
75. **霜村康平**：放射線治療計画装置の基本的な仕組み,日本放射線治療専門技師認定機構全国統一講習会第 13 回基礎コース（関西地区）,大阪国際がんセンター,2019.7
76. **霜村康平**：放射線治療計画装置の基本的な仕組み,第 35 回日本診療放射線技師会学術大会 シンポジウム,ソニック大宮,2019.9
77. **霜村康平**：ファントム作成における研究デザインの重要性,第 47 回日本放射線技術学会 シンポジウム,グランキューブ大阪,2019.10

78. 霜村康平：PTV マージンと IGRT strategy,令和元年東北大学医学物理セミナー,東北大学,2019.12
79. 松本圭一：核医学専門医教育セミナー核医学専門医受験者コース「撮像機器、撮像法」,第19回日本核医学会春季大会,東京,2019.4
80. 松本圭一：PET 施設認証セミナーPET 撮像認証コース「認知症 FDG およびアミロイド PET ファントム試験の理論的背景」,第19回日本核医学会春季大会,東京,2019.4
81. 水田正芳：1.胸部写真の見方 2.胸腹部 CT 画像の見方,多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会,京都保健衛生専門学校,2019.9
82. 渡邊祐司：PET/MR ハイブリッドイメージング：MR の活用,第9回 Radiology Update in Gifu,じゅうろくプラザ,2019.01

## (6) その他

### 【社会貢献】

83. 大野和子：原子力規制庁,放射線審議会委員,原子力安全委員会,2019 年度
84. 大野和子：京都市防災会議,専門委員,京都市,2019 年度

### 【受賞】

85. Shimizu K, Aoyama G, Nishio M, Yakami M, Kubo T, Emoto Y, Ito T, Kuroda T, Isoda H, Honorable Mention, A case study regarding clinical performance evaluation method of medical device software for approval, SPIE Medical Imaging, 2, San Diego,,
86. 大野和子：功労賞,放射線防護分野における貢献が顕著である理事,公益財団法人 日本放射線技術学会,2019.4.13,横浜
87. 大野和子：特別表彰,レジリエントシティ京都・防災功労特別表彰,京都市,2019.10.15,京都

2019年度

# 計 算 書 類

2019年 4月 1日から  
2020年 3月 31日まで

学校法人 島津学園

# 資金収支計算書

2019年 4月 1日から  
2020年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部				
科 目	予算	決算	差	異
<b>学生生徒等納付金収入</b>	<b>569,000,000</b>	<b>569,807,000</b>	<b>△</b>	<b>807,000</b>
授 業 料 収 入	308,300,000	309,207,000	△	907,000
入 学 金 収 入	24,500,000	24,500,000		0
実 験 実 習 料 収 入	114,600,000	114,550,000		50,000
施設設備資金 収 入	121,600,000	121,550,000		50,000
<b>手数料収入</b>	<b>7,540,000</b>	<b>12,940,700</b>	<b>△</b>	<b>5,400,700</b>
入 学 検 定 料 収 入	6,540,000	12,440,000	△	5,900,000
試 験 料 収 入	800,000	325,000		475,000
証 明 手 数 料 収 入	200,000	175,700		24,300
<b>寄付金収入</b>	<b>58,500,000</b>	<b>61,369,000</b>	<b>△</b>	<b>2,869,000</b>
特 別 寄 付 金 収 入	52,000,000	55,243,000	△	3,243,000
一 般 寄 付 金 収 入	6,500,000	6,126,000		374,000
<b>補助金収入</b>	<b>53,030,000</b>	<b>72,772,180</b>	<b>△</b>	<b>19,742,180</b>
国 庫 補 助 金 収 入	53,000,000	72,742,000	△	19,742,000
地方公共団体 補 助 金 収 入	30,000	30,180	△	180
<b>資産売却収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
<b>付随事業・収益事業収入</b>	<b>5,000,000</b>	<b>6,073,182</b>	<b>△</b>	<b>1,073,182</b>
受 託 事 業 収 入	5,000,000	6,073,182	△	1,073,182
<b>受取利息・配当金収入</b>	<b>20,000</b>	<b>20,185</b>	<b>△</b>	<b>185</b>
その他の受取利息・配当金収入	20,000	20,185	△	185
<b>雑収入</b>	<b>6,500,000</b>	<b>4,496,305</b>		<b>2,003,695</b>
そ の 他 の 雑 収 入	6,500,000	4,496,305		2,003,695
<b>借入金等収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
<b>前受金収入</b>	<b>185,000,000</b>	<b>209,225,000</b>	<b>△</b>	<b>24,225,000</b>
授 業 料 前 受 金 収 入	88,000,000	105,050,000	△	17,050,000
入 学 金 前 受 金 収 入	25,000,000	25,500,000	△	500,000
実 験 実 習 料 前 受 金 収 入	32,000,000	37,275,000	△	5,275,000
施設設備資金前受金 収 入	40,000,000	41,400,000	△	1,400,000
<b>その他の収入</b>	<b>16,853,239</b>	<b>17,709,410</b>	<b>△</b>	<b>856,171</b>
前期末未収入金 収 入	2,053,239	2,053,239		0
預 り 金 受 入 収 入	8,100,000	9,214,825	△	1,114,825
研修旅行費預り金受入収入	1,900,000	4,372,431	△	2,472,431
研修旅行費預り預金取崩収入	4,800,000	2,068,915		2,731,085
<b>資金収入調整勘定</b>	<b>△ 190,725,000</b>	<b>△ 189,736,362</b>	<b>△</b>	<b>988,638</b>
期末未収入金	△ 6,400,000	△ 6,181,362	△	218,638
前期末前受金	△ 184,325,000	△ 183,555,000	△	770,000
前年度繰越支払資金	726,833,814	726,833,814		
<b>収入の部 合計</b>	<b>1,437,552,053</b>	<b>1,491,510,414</b>	<b>△</b>	<b>53,958,361</b>



(単位 円)

支出の部			
科 目	予算	決算	差 異
<b>人件費支出</b>	<b>353,000,000</b>	<b>363,924,325</b>	<b>△ 10,924,325</b>
教員人件費支出	238,000,000	244,597,220	△ 6,597,220
職員人件費支出	115,000,000	119,187,105	△ 4,187,105
退職金支出	0	140,000	△ 140,000
<b>教育研究経費支出</b>	<b>152,600,000</b>	<b>148,702,207</b>	<b>3,897,793</b>
実習委託料支出	5,600,000	4,949,340	650,660
実験実習材料費支出	2,300,000	1,343,669	956,331
消耗品費支出	17,500,000	19,580,336	△ 2,080,336
印刷製本費支出	3,800,000	3,169,873	630,127
水道光熱費支出	19,500,000	20,180,153	△ 680,153
旅費交通費支出	12,900,000	12,733,872	166,128
施設維持費支出	12,700,000	13,520,790	△ 820,790
設備維持費支出	25,200,000	21,590,008	3,609,992
厚生費支出	3,000,000	3,513,601	△ 513,601
通信費支出	4,400,000	3,867,554	532,446
保険料支出	900,000	805,184	94,816
賃借料支出	300,000	376,345	△ 76,345
運送費支出	100,000	393,555	△ 293,555
諸会費支出	4,100,000	3,782,875	317,125
会議費支出	1,800,000	1,674,384	125,616
報酬・委託手数料支出	15,100,000	13,766,548	1,333,452
奨学費支出	20,000,000	20,373,538	△ 373,538
資産除去費支出	1,600,000	1,605,025	△ 5,025
その他の経費支出	1,800,000	1,475,557	324,443
<b>管理経費支出</b>	<b>83,750,000</b>	<b>80,242,350</b>	<b>3,507,650</b>
消耗品費支出	5,500,000	5,805,671	△ 305,671
印刷製本費支出	9,400,000	8,600,608	799,392
水道光熱費支出	2,300,000	2,354,204	△ 54,204
旅費交通費支出	6,100,000	4,917,428	1,182,572
施設維持費支出	2,300,000	1,975,136	324,864
設備維持費支出	1,600,000	1,318,424	281,576
厚生費支出	1,300,000	1,089,135	210,865
通信費支出	4,400,000	4,189,331	210,669
保険料支出	150,000	111,696	38,304
賃借料支出	3,100,000	2,795,431	304,569
租税公課支出	100,000	39,600	60,400
広報費支出	12,300,000	13,319,280	△ 1,019,280
運送費支出	100,000	164,777	△ 64,777
諸会費支出	800,000	922,520	△ 122,520
会議費支出	1,000,000	856,969	143,031
報酬・委託手数料支出	29,600,000	27,460,099	2,139,901
国庫補助金返還支出	0	146,000	△ 146,000
その他の経費支出	3,700,000	4,176,041	△ 476,041
<b>借入金等利息支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>借入金等返済支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>施設関係支出</b>	<b>10,000,000</b>	<b>9,998,967</b>	<b>1,033</b>
建物支出	10,000,000	9,998,967	1,033
<b>設備関係支出</b>	<b>110,000,000</b>	<b>110,735,432</b>	<b>△ 735,432</b>
教育研究用機器備品支出	106,000,000	91,165,784	14,834,216
管理用機器備品支出	1,000,000	384,382	615,618
図書支出	3,000,000	2,999,500	500
ソフトウェア支出	0	16,185,766	△ 16,185,766

(単位 円)

科 目	予算	決算	差 異
<b>資産運用支出</b>	<b>4,600,000</b>	<b>5,975,140</b>	<b>△ 1,375,140</b>
退職給与引当特定資産繰入支出	4,600,000	5,975,140	△ 1,375,140
<b>その他の支出</b>	<b>30,900,684</b>	<b>33,077,607</b>	<b>△ 2,176,923</b>
前期末未払金支払支出	16,890,000	18,232,020	△ 1,342,020
預り金支払支出	7,310,684	7,278,017	32,667
前払金支払支出	0	1,118,333	△ 1,118,333
立替金支払支出	0	7,891	△ 7,891
研修旅行費預り預金への繰入支出	5,200,000	4,506,208	693,792
研修旅行費預り金支払支出	1,500,000	1,935,138	△ 435,138
[予 備 費]	( 0 )		0
<b>資金支出調整勘定</b>	<b>△ 102,940,576</b>	<b>△ 91,504,591</b>	<b>△ 11,435,985</b>
期末未払金	△ 100,000,000	△ 88,951,090	△ 11,048,910
前期末前払金	△ 2,940,576	△ 2,553,501	△ 387,075
翌年度繰越支払資金	795,641,945	830,358,977	△ 34,717,032
<b>支出の部 合計</b>	<b>1,437,552,053</b>	<b>1,491,510,414</b>	<b>△ 53,958,361</b>

# 資金収支内訳表

2019年 4月 1日から

2020年 3月31日まで

## 収入の部

(単位 円)

科 目	部 門	学 校 法 人	京都医療科学 大学	総 額
<b>学生生徒等納付金収入</b>		<b>0</b>	<b>569,807,000</b>	<b>569,807,000</b>
授 業 料 収 入		0	309,207,000	309,207,000
入 学 金 収 入		0	24,500,000	24,500,000
実 験 実 習 料 収 入		0	114,550,000	114,550,000
施 設 設 備 資 金 収 入		0	121,550,000	121,550,000
<b>手数料収入</b>		<b>0</b>	<b>12,940,700</b>	<b>12,940,700</b>
入 学 検 定 料 収 入		0	12,440,000	12,440,000
試 験 料 収 入		0	325,000	325,000
証 明 手 数 料 収 入		0	175,700	175,700
<b>寄付金収入</b>		<b>0</b>	<b>61,369,000</b>	<b>61,369,000</b>
特 別 寄 付 金 収 入		0	55,243,000	55,243,000
一 般 寄 付 金 収 入		0	6,126,000	6,126,000
<b>補助金収入</b>		<b>0</b>	<b>72,772,180</b>	<b>72,772,180</b>
国 庫 補 助 金 収 入		0	72,742,000	72,742,000
地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入		0	30,180	30,180
<b>資産売却収入</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>付随事業・収益事業収入</b>		<b>0</b>	<b>6,073,182</b>	<b>6,073,182</b>
受 託 事 業 収 入		0	6,073,182	6,073,182
<b>受取利息・配当金収入</b>		<b>0</b>	<b>20,185</b>	<b>20,185</b>
そ の 他 の 受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入		0	20,185	20,185
<b>雑収入</b>		<b>0</b>	<b>4,496,305</b>	<b>4,496,305</b>
そ の 他 の 雑 収 入		0	4,496,305	4,496,305
<b>借入金等収入</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>計</b>		<b>0</b>	<b>727,478,552</b>	<b>727,478,552</b>

(単位 円)

科 目	部 門	学 校 法 人	京 都 医 療 科 学 大 学	総 額
<b>前受金収入</b>		<b>0</b>	<b>209,225,000</b>	<b>209,225,000</b>
授 業 料 前 受 金 収 入		0	105,050,000	105,050,000
入 学 金 前 受 金 収 入		0	25,500,000	25,500,000
実 験 実 習 料 前 受 金 収 入		0	37,275,000	37,275,000
施 設 設 備 資 金 前 受 金 収 入		0	41,400,000	41,400,000
<b>その他の収入</b>		<b>6,822</b>	<b>17,702,588</b>	<b>17,709,410</b>
前 期 未 未 収 入 金 収 入		0	2,053,239	2,053,239
預 り 金 受 入 収 入		6,822	9,208,003	9,214,825
研 修 旅 行 費 預 り 金 受 入 収 入		0	4,372,431	4,372,431
研 修 旅 行 費 預 り 預 金 取 崩 収 入		0	2,068,915	2,068,915
<b>資金収入調整勘定</b>		<b>0</b>	<b>△ 189,736,362</b>	<b>△ 189,736,362</b>
期 末 未 収 入 金		0	△ 6,181,362	△ 6,181,362
前 期 未 前 受 金		0	△ 183,555,000	△ 183,555,000
前 年 度 繰 越 支 払 資 金		0	726,833,814	726,833,814
<b>収入の部 合 計</b>		<b>6,822</b>	<b>1,491,503,592</b>	<b>1,491,510,414</b>
内 部 資 金 収 入		0	0	0
<b>計</b>		<b>6,822</b>	<b>1,491,503,592</b>	<b>1,491,510,414</b>

## 支 出 の 部

(単位 円)

科 目	部 門	学 校 法 人	京都医療科学 大学	総 額
<b>人件費支出</b>		<b>0</b>	<b>363,924,325</b>	<b>363,924,325</b>
教員人件費支出		0	244,597,220	244,597,220
職員人件費支出		0	119,187,105	119,187,105
退職金支出		0	140,000	140,000
<b>教育研究経費支出</b>		<b>0</b>	<b>148,702,207</b>	<b>148,702,207</b>
実習委託料支出		0	4,949,340	4,949,340
実験実習材料費支出		0	1,343,669	1,343,669
消耗品費支出		0	19,580,336	19,580,336
印刷製本費支出		0	3,169,873	3,169,873
水道光熱費支出		0	20,180,153	20,180,153
旅費交通費支出		0	12,733,872	12,733,872
施設維持費支出		0	13,520,790	13,520,790
設備維持費支出		0	21,590,008	21,590,008
厚生費支出		0	3,513,601	3,513,601
通信費支出		0	3,867,554	3,867,554
保険料支出		0	805,184	805,184
賃借料支出		0	376,345	376,345
運送費支出		0	393,555	393,555
諸会費支出		0	3,782,875	3,782,875
会議費支出		0	1,674,384	1,674,384
報酬・委託手数料支出		0	13,766,548	13,766,548
奨学費支出		0	20,373,538	20,373,538
資産除去費支出		0	1,605,025	1,605,025
その他の経費支出		0	1,475,557	1,475,557
<b>管理経費支出</b>		<b>9,067,122</b>	<b>71,175,228</b>	<b>80,242,350</b>
消耗品費支出		291,702	5,513,969	5,805,671
印刷製本費支出		137,478	8,463,130	8,600,608
水道光熱費支出		117,710	2,236,494	2,354,204
旅費交通費支出		1,577,442	3,339,986	4,917,428
施設維持費支出		98,757	1,876,379	1,975,136
設備維持費支出		65,921	1,252,503	1,318,424
厚生費支出		0	1,089,135	1,089,135
通信費支出		586,696	3,602,635	4,189,331
保険料支出		5,585	106,111	111,696
賃借料支出		139,772	2,655,659	2,795,431
租税公課支出		39,600	0	39,600
広報費支出		0	13,319,280	13,319,280
運送費支出		24,248	140,529	164,777
諸会費支出		0	922,520	922,520
会議費支出		856,969	0	856,969
報酬・委託手数料支出		4,852,285	22,607,814	27,460,099
国庫補助金返還支出		0	146,000	146,000
その他の経費支出		272,957	3,903,084	4,176,041
<b>借入金等利息支出</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>借入金等返済支出</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>施設関係支出</b>		<b>0</b>	<b>9,998,967</b>	<b>9,998,967</b>
建物支出		0	9,998,967	9,998,967
<b>設備関係支出</b>		<b>0</b>	<b>110,735,432</b>	<b>110,735,432</b>
教育研究用機器備品支出		0	91,165,784	91,165,784
管理用機器備品支出		0	384,382	384,382
図書支出		0	2,999,500	2,999,500
ソフトウェア支出		0	16,185,766	16,185,766

(単位 円)

科 目	部 門	学 校 法 人	京 都 医 療 科 学 大 学	総 額
計		9,067,122	704,536,159	713,603,281

(単位 円)

科 目	部 門	学 校 法 人	京 都 医 療 科 学 大 学	総 額
<b>資産運用支出</b>		<b>0</b>	<b>5,975,140</b>	<b>5,975,140</b>
退職給与引当特定資産繰入支出		0	5,975,140	5,975,140
<b>その他の支出</b>		<b>191,838</b>	<b>32,885,769</b>	<b>33,077,607</b>
前期末未払金支払支出		191,838	18,040,182	18,232,020
預り金支払支出		0	7,278,017	7,278,017
前払金支払支出		0	1,118,333	1,118,333
立替金支払支出		0	7,891	7,891
研修旅行費預り預金への繰入支出		0	4,506,208	4,506,208
研修旅行費預り金支払支出		0	1,935,138	1,935,138
<b>資金支出調整勘定</b>		<b>0</b>	<b>△ 91,504,591</b>	<b>△ 91,504,591</b>
期末未払金		0	△ 88,951,090	△ 88,951,090
前期末前払金		0	△ 2,553,501	△ 2,553,501
翌年度繰越支払資金		0	830,358,977	830,358,977
<b>支出の部合計</b>		<b>9,258,960</b>	<b>1,482,251,454</b>	<b>1,491,510,414</b>
内部資金支出		0	0	0
<b>計</b>		<b>9,258,960</b>	<b>1,482,251,454</b>	<b>1,491,510,414</b>

# 人件費支出内訳表

2019年 4月 1日から  
2020年 3月31日まで

(単位 円)

科 目	部 門	学 校 法 人	京都医療科学 大学	総 額
<b>教員人件費支出</b>		<b>0</b>	<b>244,597,220</b>	<b>244,597,220</b>
<b>本 務 教 員</b>		<b>0</b>	<b>239,274,104</b>	<b>239,274,104</b>
本 俸		0	133,534,027	133,534,027
期 末 手 当		0	59,115,360	59,115,360
その他の手当		0	12,096,900	12,096,900
所 定 福 利 費		0	27,084,097	27,084,097
私立大学退職金財団負担金		0	7,443,720	7,443,720
<b>兼 務 教 員</b>		<b>0</b>	<b>5,323,116</b>	<b>5,323,116</b>
<b>職員人件費支出</b>		<b>0</b>	<b>119,187,105</b>	<b>119,187,105</b>
<b>本 務 職 員</b>		<b>0</b>	<b>112,853,281</b>	<b>112,853,281</b>
本 俸		0	61,013,301	61,013,301
期 末 手 当		0	24,225,641	24,225,641
その他の手当		0	9,998,790	9,998,790
所 定 福 利 費		0	14,661,659	14,661,659
私立大学退職金財団負担金		0	2,953,890	2,953,890
<b>兼 務 職 員</b>		<b>0</b>	<b>6,333,824</b>	<b>6,333,824</b>
<b>退職金支出</b>		<b>0</b>	<b>140,000</b>	<b>140,000</b>
職 員		0	140,000	140,000
<b>計</b>		<b>0</b>	<b>363,924,325</b>	<b>363,924,325</b>



# 活動区分資金収支計算書

2019年 4月 1日から

2020年 3月31日まで

(単位 円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	569,807,000
		手数料収入	12,940,700
		特別寄付金収入	22,600,000
		一般寄付金収入	6,126,000
		経常費等補助金収入	72,772,180
		付随事業収入	6,073,182
		雑収入	4,496,305
		教育活動資金収入計	694,815,367
	支出	人件費支出	363,924,325
		教育研究経費支出	148,702,207
		管理経費支出	80,242,350
		教育活動資金支出計	592,868,882
		差引	101,946,485
	調整勘定等	22,689,419	
	教育活動資金収支差額	124,635,904	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	32,643,000
		施設整備等活動資金収入計	32,643,000
	支出	施設関係支出	9,998,967
		設備関係支出	110,735,432
		施設整備等活動資金支出計	120,734,399
		差引	△ 88,091,399
		調整勘定等	71,006,696
		施設整備等活動資金収支差額	△ 17,084,703
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			107,551,201
その他の活動による資金収支	収入	退職給与引当特定資産取崩収入	0
		預り金受入収入	9,214,825
		研修旅行費預り金受入収入	4,372,431
		研修旅行費預り資産取崩収入	2,068,915
		小計	15,656,171
		受取利息・配当金収入	20,185
		その他の活動資金収入計	15,676,356
	支出	退職給与引当特定資産繰入支出	5,975,140
		預り金支払支出	7,278,017
		立替金支払支出	7,891
		研修旅行費預り金支払支出	1,935,138
		研修旅行費預り預金への繰入支出	4,506,208
		小計	19,702,394
		その他の活動資金支出計	19,702,394
		差引	△ 4,026,038
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額	△ 4,026,038	
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)			103,525,163
前年度繰越支払資金			726,833,814
翌年度繰越支払資金			830,358,977

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位 円)

項 目	資金収支 計算書計上額	教育活動による 資金収支	施設整備等活動 による資金収支	その他の活動に よる資金収支
前受金収入	209,225,000	209,225,000	0	0
授 業 料 前 受 金 収 入	105,050,000	105,050,000	0	0
入 学 金 前 受 金 収 入	25,500,000	25,500,000	0	0
実験実習料前受金 収 入	37,275,000	37,275,000	0	0
施設設備資金前受金 収 入	41,400,000	41,400,000	0	0
前期末未収入金 収 入	2,053,239	2,053,239	0	0
期末未収入金	△ 6,181,362	△ 6,181,362	0	0
前期末前受金	△ 183,555,000	△ 183,555,000	0	0
収入計	21,541,877	21,541,877	0	0
前期末未払金支払支 出	18,232,020	13,629,852	4,602,168	0
前 払 金 支 払 支 出	1,118,333	△ 222,803	1,341,136	0
期 末 未 払 金	△ 88,951,090	△ 12,001,090	△ 76,950,000	0
前 期 末 前 払 金	△ 2,553,501	△ 2,553,501	0	0
支出計	△ 72,154,238	△ 1,147,542	△ 71,006,696	0
収入計 - 支出計	93,696,115	22,689,419	71,006,696	0

# 事業活動収支計算書

2019年 4月 1日から  
2020年 3月31日まで

(単位 円)

科 目		予算	決算	差 異	
事業活動収入の部	<b>学生生徒等納付金</b>	<b>569,000,000</b>	<b>569,807,000</b>	<b>△ 807,000</b>	
	授 業 料	308,300,000	309,207,000	△ 907,000	
	入 学 金	24,500,000	24,500,000	0	
	実 験 実 習 料	114,600,000	114,550,000	50,000	
	施 設 設 備 資 金	121,600,000	121,550,000	50,000	
	<b>手数料</b>	<b>7,540,000</b>	<b>12,940,700</b>	<b>△ 5,400,700</b>	
	入 学 検 定 料	6,540,000	12,440,000	△ 5,900,000	
	試 験 料	800,000	325,000	475,000	
	証 明 手 数 料	200,000	175,700	24,300	
	<b>寄付金</b>	<b>28,500,000</b>	<b>28,726,000</b>	<b>△ 226,000</b>	
	特 別 寄 付 金	22,000,000	22,600,000	△ 600,000	
	一 般 寄 付 金	6,500,000	6,126,000	374,000	
	<b>經常費等補助金</b>	<b>53,030,000</b>	<b>72,772,180</b>	<b>△ 19,742,180</b>	
	国 庫 補 助 金	53,000,000	72,742,000	△ 19,742,000	
	地 方 公 共 団 体 補 助 金	30,000	30,180	△ 180	
	<b>付随事業収入</b>	<b>5,000,000</b>	<b>6,073,182</b>	<b>△ 1,073,182</b>	
	受 託 事 業 収 入	5,000,000	6,073,182	△ 1,073,182	
	<b>雑収入</b>	<b>6,500,000</b>	<b>4,496,305</b>	<b>2,003,695</b>	
	そ の 他 の 雑 収 入	6,500,000	4,496,305	2,003,695	
	<b>教育活動収入計</b>	<b>669,570,000</b>	<b>694,815,367</b>	<b>△ 25,245,367</b>	
教育活動収支	事業活動支出の部	科 目	予算	決算	差 異
		<b>人件費</b>	<b>357,600,000</b>	<b>369,899,465</b>	<b>△ 12,299,465</b>
		教 員 人 件 費	238,000,000	244,597,220	△ 6,597,220
		職 員 人 件 費	115,000,000	119,187,105	△ 4,187,105
		退 職 金	0	140,000	△ 140,000
		退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	4,600,000	5,975,140	△ 1,375,140
		<b>教育研究経費</b>	<b>282,100,000</b>	<b>274,209,164</b>	<b>7,890,836</b>
		実 習 委 託 料	5,600,000	4,949,340	650,660
		実 験 実 習 材 料 費	2,300,000	1,343,669	956,331
		消 耗 品 費	17,500,000	19,580,336	△ 2,080,336
		印 刷 製 本 費	3,800,000	3,169,873	630,127
		水 道 光 熱 費	19,500,000	20,180,153	△ 680,153
		旅 費 交 通 費	12,900,000	12,733,872	166,128
		施 設 維 持 費	12,700,000	13,520,790	△ 820,790
		設 備 維 持 費	25,200,000	21,590,008	3,609,992
		厚 生 費	3,000,000	3,513,601	△ 513,601
		通 信 費	4,400,000	3,867,554	532,446
		保 険 料	900,000	805,184	94,816
		賃 借 料	300,000	376,345	△ 76,345
		運 送 費	100,000	393,555	△ 293,555
		諸 会 費	4,100,000	3,782,875	317,125
		会 議 費	1,800,000	1,674,384	125,616
		報 酬 ・ 委 託 手 数 料	15,100,000	13,766,548	1,333,452
		奨 学 費	20,000,000	20,373,538	△ 373,538
		資 産 除 去 費	1,600,000	1,605,025	△ 5,025
		そ の 他 の 経 費	1,800,000	1,199,845	600,155
		減 価 償 却 額	129,500,000	125,782,669	3,717,331
		<b>管理経費</b>	<b>101,350,000</b>	<b>98,068,952</b>	<b>3,281,048</b>
		消 耗 品 費	5,500,000	5,805,671	△ 305,671
		印 刷 製 本 費	9,400,000	8,600,608	799,392
		水 道 光 熱 費	2,300,000	2,354,204	△ 54,204
		旅 費 交 通 費	6,100,000	4,917,428	1,182,572
		施 設 維 持 費	2,300,000	1,975,136	324,864
		設 備 維 持 費	1,600,000	1,318,424	281,576
		厚 生 費	1,300,000	1,089,135	210,865
		通 信 費	4,400,000	4,189,331	210,669
		保 険 料	150,000	111,696	38,304
		賃 借 料	3,100,000	2,795,431	304,569
		租 税 公 課	100,000	39,600	60,400
		広 報 費	12,300,000	13,319,280	△ 1,019,280

(単位 円)

		科 目	予算	決算	差 異
教育活動収支	事業活動支出の部	運 送 費	100,000	164,777	△ 64,777
		諸 会 費	800,000	922,520	△ 122,520
		会 議 費	1,000,000	856,969	143,031
		報酬・委託手数料	29,600,000	27,460,099	2,139,901
		国庫補助金返還金	0	146,000	△ 146,000
		その他の経費	3,700,000	4,176,041	△ 476,041
		減価償却額	17,600,000	17,826,602	△ 226,602
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	741,050,000	742,177,581	△ 1,127,581
教育活動収支差額		△ 71,480,000	△ 47,362,214	△ 24,117,786	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予算	決算	差 異
		受取利息・配当金	20,000	20,185	△ 185
		その他の受取利息・配当金	20,000	20,185	△ 185
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	20,000	20,185	△ 185	
	事業活動支出の部	科 目	予算	決算	差 異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	20,000	20,185	△ 185
経常収支差額		△ 71,460,000	△ 47,342,029	△ 24,117,971	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予算	決算	差 異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	30,000,000	33,766,387	△ 3,766,387
		施設設備寄付金	30,000,000	32,643,000	△ 2,643,000
		現物寄付	0	1,123,387	△ 1,123,387
	特別収入計	30,000,000	33,766,387	△ 3,766,387	
	事業活動支出の部	科 目	予算	決算	差 異
		資産処分差額	0	25,462,037	△ 25,462,037
		施設処分差額	0	1,818,681	△ 1,818,681
		教育研究用機器備品処分差額	0	23,484,400	△ 23,484,400
		その他の機器備品処分差額	0	158,956	△ 158,956
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	25,462,037	△ 25,462,037
		特別収支差額	30,000,000	8,304,350	21,695,650
〔予備費〕		( 0 )		0	
基本金組入前当年度収支差額	△ 41,460,000	△ 39,037,679	△ 2,422,321		
基本金組入額合計	△ 33,000,000	0	△ 33,000,000		
当年度収支差額	△ 74,460,000	△ 39,037,679	△ 35,422,321		
前年度繰越収支差額	△ 809,218,173	△ 809,218,173	0		
基本金取崩額	0	55,975,610	△ 55,975,610		
翌年度繰越収支差額	△ 883,678,173	△ 792,280,242	△ 91,397,931		
(参考)					
事業活動収入計	699,590,000	728,601,939	△ 29,011,939		
事業活動支出計	741,050,000	767,639,618	△ 26,589,618		

# 事業活動収支内訳表

2019年 4月 1日から

2020年 3月31日まで

(単位 円)

科 目	部 門	学 校 法 人	京都医療科学 大学	総 額
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	0	569,807,000	569,807,000
	授 業 料	0	309,207,000	309,207,000
	入 学 金	0	24,500,000	24,500,000
	実 験 実 習 料	0	114,550,000	114,550,000
	施 設 設 備 資 金	0	121,550,000	121,550,000
	手数料	0	12,940,700	12,940,700
	入 学 検 定 料	0	12,440,000	12,440,000
	試 験 料	0	325,000	325,000
	証 明 手 数 料	0	175,700	175,700
	寄付金	0	28,726,000	28,726,000
	特 別 寄 付 金	0	22,600,000	22,600,000
	一 般 寄 付 金	0	6,126,000	6,126,000
	経常費等補助金	0	72,772,180	72,772,180
	国 庫 補 助 金	0	72,742,000	72,742,000
	地方公共団体 補助金	0	30,180	30,180
	付随事業収入	0	6,073,182	6,073,182
	受託事業収入	0	6,073,182	6,073,182
	雑収入	0	4,496,305	4,496,305
	その他の雑収入	0	4,496,305	4,496,305
	教育活動収入計	0	694,815,367	694,815,367
教育活動収支	人件費	0	369,899,465	369,899,465
	教 員 人 件 費	0	244,597,220	244,597,220
	職 員 人 件 費	0	119,187,105	119,187,105
	退 職 金	0	140,000	140,000
	退職給与引当金繰入額	0	5,975,140	5,975,140
	教育研究経費	0	274,209,164	274,209,164
	実 習 委 託 料	0	4,949,340	4,949,340
	実験実習材料費	0	1,343,669	1,343,669
	消 耗 品 費	0	19,580,336	19,580,336
	印 刷 製 本 費	0	3,169,873	3,169,873
	水 道 光 熱 費	0	20,180,153	20,180,153
	旅 費 交 通 費	0	12,733,872	12,733,872
	施 設 維 持 費	0	13,520,790	13,520,790
	設 備 維 持 費	0	21,590,008	21,590,008
	厚 生 費	0	3,513,601	3,513,601
	通 信 費	0	3,867,554	3,867,554
	保 險 料	0	805,184	805,184
	賃 借 料	0	376,345	376,345
	運 送 費	0	393,555	393,555
	諸 会 費	0	3,782,875	3,782,875
	会 議 費	0	1,674,384	1,674,384
	報酬・委託手数料	0	13,766,548	13,766,548
	奨 学 費	0	20,373,538	20,373,538
	資 産 除 去 費	0	1,605,025	1,605,025
	その他の経費	0	1,199,845	1,199,845
	減 価 償 却 額	0	125,782,669	125,782,669
	管理経費	9,958,452	88,110,500	98,068,952
	消 耗 品 費	291,702	5,513,969	5,805,671
	印 刷 製 本 費	137,478	8,463,130	8,600,608
	水 道 光 熱 費	117,710	2,236,494	2,354,204
旅 費 交 通 費	1,577,442	3,339,986	4,917,428	
施 設 維 持 費	98,757	1,876,379	1,975,136	
設 備 維 持 費	65,921	1,252,503	1,318,424	
厚 生 費	0	1,089,135	1,089,135	
通 信 費	586,696	3,602,635	4,189,331	
保 險 料	5,585	106,111	111,696	

(単位 円)

科 目		部 門	学 校 法 人	京 都 医 療 科 学 大 学	総 額			
教育活動収支	事業活動支出の部	賃借料	139,772	2,655,659	2,795,431			
		租税公課	39,600	0	39,600			
		広報費	0	13,319,280	13,319,280			
		運送費	24,248	140,529	164,777			
		諸会費	0	922,520	922,520			
		会議費	856,969	0	856,969			
		報酬・委託手数料	4,852,285	22,607,814	27,460,099			
		国庫補助金返還金	0	146,000	146,000			
		その他の経費	272,957	3,903,084	4,176,041			
		減価償却額	891,330	16,935,272	17,826,602			
		徴収不能額等	0	0	0			
教育活動支出計	9,958,452	732,219,129	742,177,581					
教育活動収支差額	△	9,958,452	△	37,403,762	△	47,362,214		
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	0	20,185	20,185			
		その他の受取利息・配当金	0	20,185	20,185			
		その他の教育活動外収入	0	0	0			
		教育活動外収入計	0	20,185	20,185			
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0			
		その他の教育活動外支出	0	0	0			
		教育活動外支出計	0	0	0			
		教育活動外収支差額	0	20,185	20,185			
		経常収支差額	△	9,958,452	△	37,383,577	△	47,342,029
		特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0	
				その他の特別収入	0	33,766,387	33,766,387	
施設設備寄付金	0			32,643,000	32,643,000			
現物寄付	0			1,123,387	1,123,387			
特別収入計	0			33,766,387	33,766,387			
事業活動支出の部	資産処分差額		0	25,462,037	25,462,037			
	施設処分差額		0	1,818,681	1,818,681			
	教育研究用機器備品処分差額		0	23,484,400	23,484,400			
	その他の機器備品処分差額		0	158,956	158,956			
	その他の特別支出		0	0	0			
	特別支出計		0	25,462,037	25,462,037			
特別収支差額	0	8,304,350	8,304,350					
基本金組入前当年度収支差額	△	9,958,452	△	29,079,227	△	39,037,679		
基本金組入額合計		0	0	0				
当年度収支差額	△	9,958,452	△	29,079,227	△	39,037,679		
(参考)								
事業活動収入計		0	728,601,939	728,601,939				
事業活動支出計		9,958,452	757,681,166	767,639,618				

(単位 円)

科 目	部 門	学 校 法 人	京 都 医 療 科 学 大 学	総 額
前年度繰越収支差額		△ 71,009,529	△ 738,208,644	△ 809,218,173
基本金取崩額		0	55,975,610	55,975,610
<b>翌年度繰越収支差額</b>		<b>△ 80,967,981</b>	<b>△ 711,312,261</b>	<b>△ 792,280,242</b>
(参考)				
事業活動収入計		0	728,601,939	728,601,939
事業活動支出計		9,958,452	757,681,166	767,639,618

# 貸借対照表

2020年 3月31日

(単位 円)

資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
<b>固定資産</b>	<b>2,758,226,434</b>	<b>2,799,464,816</b>	△	<b>41,238,382</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,657,561,418</b>	<b>2,718,123,236</b>	△	<b>60,561,818</b>
土地	449,530,000	449,530,000		0
建築物	1,688,692,534	1,752,232,840	△	63,540,306
構築物	25,029,290	27,916,960	△	2,887,670
教育研究用機器備品	358,332,355	349,673,313		8,659,042
管理用機器備品	20,527,030	26,750,737	△	6,223,707
図書	115,450,209	112,019,386		3,430,823
<b>特定資産</b>	<b>72,623,106</b>	<b>66,647,966</b>		<b>5,975,140</b>
退職給与引当特定資産	72,623,106	66,647,966		5,975,140
<b>その他の固定資産</b>	<b>28,041,910</b>	<b>14,693,614</b>		<b>13,348,296</b>
電話加入権	446,184	446,184		0
施設利用権	10	10		0
出資金	10,000	10,000		0
保証金	50,000	50,000		0
ソフトウェア	27,535,716	14,187,420		13,348,296
<b>流動資産</b>	<b>842,978,627</b>	<b>734,039,613</b>		<b>108,939,014</b>
現金預金	830,358,977	726,833,814		103,525,163
未収入金	6,181,362	2,053,239		4,128,123
貯蔵品	275,712	0		275,712
前払金	1,782,254	3,217,422	△	1,435,168
立替金	7,891	0		7,891
研修旅行費預り預金	4,372,431	1,935,138		2,437,293
<b>資産の部合計</b>	<b>3,601,205,061</b>	<b>3,533,504,429</b>		<b>67,700,632</b>
負債の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
<b>固定負債</b>	<b>77,799,330</b>	<b>75,706,358</b>		<b>2,092,972</b>
長期未払金	5,176,224	9,058,392	△	3,882,168
退職給与引当金	72,623,106	66,647,966		5,975,140
<b>流動負債</b>	<b>316,533,426</b>	<b>211,888,087</b>		<b>104,645,339</b>
未払金	92,833,258	18,232,020		74,601,238
前受金	209,995,000	184,325,000		25,670,000
預り金	9,332,737	7,395,929		1,936,808
研修旅行費預り金	4,372,431	1,935,138		2,437,293
<b>負債の部合計</b>	<b>394,332,756</b>	<b>287,594,445</b>		<b>106,738,311</b>
純資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
<b>基本金</b>	<b>3,999,152,547</b>	<b>4,055,128,157</b>	△	<b>55,975,610</b>
第1号 基本金	3,951,152,547	4,007,128,157	△	55,975,610
第4号 基本金	48,000,000	48,000,000		0
<b>繰越収支差額</b>	<b>△ 792,280,242</b>	<b>△ 809,218,173</b>		<b>16,937,931</b>
翌年度繰越収支差額	△ 792,280,242	△ 809,218,173		16,937,931
<b>純資産の部合計</b>	<b>3,206,872,305</b>	<b>3,245,909,984</b>	△	<b>39,037,679</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>3,601,205,061</b>	<b>3,533,504,429</b>		<b>67,700,632</b>



注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

債権の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、自己都合による期末要支給額(119,890,285円)の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし。

3. 減価償却額の累計額の合計額

1,351,617,611円

4. 徴収不能引当金の合計額

0円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

なし

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

86,008,392円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策  
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

関連当事者との取引

関連当事者との取引は、次のとおりである。

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金 又は 出資金  百万円	事業の 内容又は 職業	議決権 の所有 割合	関係内容		取引の 内容	取引 金額  円	勘定 科目	期末 残高  円
						役員の 兼任等	事業上の 関係				
当該学校 法人と同一の 関係法人をも つ法人	島津メディカル システムズ 株式会社  (注1)	大阪市 淀川区	115	医療機器 販売修理 保守	—	—	機器備品 の保守・ 修理	医療機器 備品の保 守料・修 理料  (注2)	6,070,577	—	—
当該学校 法人と同一の 関係法人をも つ法人	太平工業 株式会社  (注1)	京都市 右京区	45	総合 建設業	—	—	校舎の建 物・設備 の補修及 び設置	建物・設 備の補修 ・設置費 支払  (注2)	15,082,804	—	—

(注1) 当法人の関係法人である株式会社 島津製作所の子会社である。

(注2) 一般的取引条件と同様に決定している。

# 固定資産明細表

2019年 4月 1日から  
2020年 3月 31日まで

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却額の累計額	差引期末残高	摘 要
土地	449,530,000	0	0	449,530,000		449,530,000	
建物	2,378,992,838	9,998,967	5,182,613	2,383,809,192	695,116,658	1,688,692,534	
構築物	80,573,730	0	0	80,573,730	55,544,440	25,029,290	
教育研究用機器備品	925,051,866	91,857,848	95,257,405	921,652,309	563,319,954	358,332,355	(注1)
管理用機器備品	58,891,393	384,382	4,325,546	54,950,229	34,423,199	20,527,030	
図書	112,019,386	3,430,823	0	115,450,209	—	115,450,209	(注2)
計	4,005,059,213	105,672,020	104,765,564	4,005,965,669	1,348,404,251	2,657,561,418	
退職給与引当特定資産	66,647,966	5,975,140	0	72,623,106	—	72,623,106	
特 定 資 産							
そ の 他 の 固 定 資 産							
計	66,647,966	5,975,140	0	72,623,106	—	72,623,106	
電話加入権	446,184	0	0	446,184	—	446,184	
施設利用権	375,900	0	0	375,900	375,890	10	
出 資 金	10,000	0	0	10,000	—	10,000	
保 証 金	50,000	0	0	50,000	—	50,000	
ソフトウェア	14,187,420	16,185,766	0	30,373,186	2,837,470	27,535,716	
計	15,069,504	16,185,766	0	31,255,270	3,213,360	28,041,910	
合 計	4,086,776,683	127,832,926	104,765,564	4,109,844,045	1,351,617,611	2,758,226,434	

(注1) 当期増加額のうち 76,950,000円はMRI装置の取得であり、692,064円は現物寄付による。

当期減少額のうち 87,299,850円はMRI装置の除却による。

(注2) 当期増加額のうち 431,323円は現物寄付による。

# 借入金明細表

2019年 4月 1日から  
2020年 3月 31日まで

(単位 円)

借入金先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	利率	返済期限	摘要
公 融 機 関 的							
小 計	0	0	0	0			
市 金 融 機 関 中 関							
小 計	0	0	0	0			
そ の 他							
小 計	0	0	0	0			
公 融 機 関 的							
小 計	0	0	0	0			
市 金 融 機 関 中 関							
小 計	0	0	0	0			
そ の 他							
小 計	0	0	0	0			
返 済 期 限 が 1 年 以 内 の 長 期 借 入 金							
小 計	0	0	0	0			
合 計	0	0	0	0			

# 基本金明細表

2019年 4月 1日から

2020年 3月31日まで

(単位 円)

事 項	要 組 入 高	組 入 高	未 組 入 高	摘 要
第 1 号 基本金				
前期繰越高	4,020,068,717	4,007,128,157	12,940,560	
当期取崩高				
1. 建 物				
建物の取得に係る組入れ	9,998,967	9,998,967		
除却した建物に係る基本金額	△ 5,182,613	△ 5,182,613		
小 計	4,816,354	4,816,354	0	
2. 教育研究用機器備品				
MRI装置の取得に係る組入れ	76,950,000	0	76,950,000	
現物寄付に係る組入れ	692,064	692,064		
教育研究用機器備品の取得に係る組入れ	14,215,784	14,215,784		
MRI装置の除却に伴う取崩し	△ 87,299,850	△ 87,299,850		
除却した機器備品に係る基本金額	△ 7,957,555	△ 7,957,555		
小 計	△ 3,399,557	△ 80,349,557	76,950,000	
過年度未組入高の当期組入高		2,138,400	△ 2,138,400	
3. 管理用機器備品				
管理用機器備品の取得に係る組入れ	384,382	384,382		
除却した機器備品に係る基本金額	△ 4,325,546	△ 4,325,546		
小 計	△ 3,941,164	△ 3,941,164	0	
過年度未組入高の当期組入高		1,743,768	△ 1,743,768	
4. 図 書				
図書の取得に係る組入れ	2,999,500	2,999,500		
現物寄付に係る組入れ	431,323	431,323		
小 計	3,430,823	3,430,823	0	
5. ソフトウェア				
ソフトウェアの取得に係る組入れ	16,185,766	16,185,766		
小 計	16,185,766	16,185,766	0	
計	17,092,222	△ 55,975,610	73,067,832	
当期末残高	4,037,160,939	3,951,152,547	86,008,392	
第 4 号 基本金				
前期繰越高	48,000,000	48,000,000	0	
当期末残高	48,000,000	48,000,000	0	
合 計				
前期繰越高	—	4,055,128,157	12,940,560	
当期取崩高	—	△ 55,975,610		
当期末残高	—	3,999,152,547	86,008,392	